

BOSE

QUIETCOMFORT ULTRA EARBUDS (2ND GEN)

安全上の留意項目および使用方法をよく読み、それに従ってください。

適合宣言書については、www.Bose.com/complianceを参照してください。

 Bose Corporationは、この製品がEU指令2014/53/EUおよび該当するその他すべてのEU指令の必須要件およびその他の該当条項に準拠していることを宣言します。

安全上の留意項目

お手入れは乾いた布を使用して行ってください。

必ず指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。

修理が必要な際には、Boseカスタマーサービスにお問い合わせください。機器が正常に動作しない場合や、物理的に破損した場合には、修理が必要です。

警告/注意

- ・誤って飲み込まないように、本製品はお子様やペットが触れない場所に置いてください。本製品にはバッテリーが内蔵されているため、飲み込むと事故につながる恐れがあります。飲み込んでしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。使用していないときは、本製品をお子様やペットの手の届かないところに保管してください。
- ・本製品はお子様のご使用を想定していません。
- ・耳への負担を避けるため、ヘッドホンを高音量で使用しないでください。再生機器の音量を下げてからヘッドホンに耳に装着し、快適な適度な音量になるまで少しずつ音量を上げてください。
- ・身に着けるときや、ポケット、ハンドバッグ、キャリーバッグなどに入れて持ち運ぶときは、充電ケースのふたをしっかりと閉じてください。
- ・車両の運転中にヘッドホンを使用することは推奨されません。一部の国や地域では法律で禁止されている場合があります。運転中のヘッドホンの使用については十分な注意を払い、適用される法律に従ってください。ヘッドホンの使用により、注意力が低下する場合や、自動車の運転中にアラームや警告音など周囲の音が聞き取れなく場合は、直ちに使用を中止してください。
- ・ヘッドホンを使用しながら、注意力が求められる活動をする場合は、注意してください。車道、建設現場、線路などの付近を歩いているときなど、外部音がはっきり聞こえないことによって自身や他の人に危険が生じる可能性がある場合は、ヘッドホンを使用しないでください。
- ・イヤホンから異常な音が聞こえる場合は、イヤホンを使用しないでください。そのような場合は、イヤホンを外してBoseカスタマーサービスにご連絡ください。
- ・本製品を水に沈めたり、長時間水にさらしたりしないでください。
- ・製品から熱が発生していることに気づいたら、すぐに外してください。

⚠ WARNING

- **INGESTION HAZARD:** This product contains a button cell or coin battery.
- **DEATH** or serious injury can occur if ingested.
- A swallowed button cell or coin battery can cause **Internal Chemical Burns** in as little as **2 hours**.
- **KEEP** new and used batteries **OUT OF REACH OF CHILDREN**
- **Seek immediate medical attention** if a battery is suspected to be swallowed or inserted inside any part of the body.



- 使用済みの電池は、取り外して直ちにリサイクルするか、地域の規則に従って廃棄してください。また、お子様の手の届かないところに置いてください。電池を家庭用ゴミ箱に捨てたり、焼却したりしないでください。
- 使用済みの電池であっても、重傷を負ったり死亡したりする恐れがあります。
- 治療法については、最寄りの毒物管理センターにお問い合わせください。
- 電池の強制放電や、再充電、分解、85°C以上の加熱、焼却はしないでください。ガス漏れ、液漏れ、爆発により、怪我をしたり化学やけどを負ったりする恐れがあります。
- 非充電式電池は充電しないでください。
- この製品には交換不可能なバッテリーが使用されています。
- 電池/バッテリータイプ: 1454 | 公称バッテリー電圧: 3.85V



のどに詰まりやすい小さな部品が含まれています。3歳未満のお子様には適していません。



この製品には磁性材料が含まれています。体内に埋め込まれている医療機器への影響については、医師にご相談ください。

- 許可なく製品を改造しないでください。
- 火気や熱源などの近くで使用しないでください。火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。
- 付属のイヤーチップを取り付けずにイヤホンを使用しないでください。
- この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。
- 本製品に付属のバッテリーは、取り扱いを誤ったり、正しく交換しなかったり、誤ったタイプのバッテリーと交換したりすると、火災や化学やけどなどの原因になる恐れがあります。
- 電池/バッテリーが液漏れしている場合は、漏れた液に触れたり目に入れたりしないでください。液が身体に付着した場合は、医師の診断を受けてください。
- 電池/バッテリーが含まれる製品を直射日光や炎など、過度な熱にさらさないでください。
- 充電する前に、イヤホンと充電ケースから汗を拭き取ってください。
- IPX4は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。
- 製品内部の部品から危険なレーザーが放出されるのを防ぐため、指示に従って本製品を使用してください。イヤホンの調整または修理は、必ず資格を持つサービス担当者にお任せください。
- 暖炉、ラジエーター、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
- Laser Notice 56 (2019年5月8日)に記載されている IEC 60825-1 Ed.3 への準拠を除き、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。



本製品は、EN 50689:2021およびIEC 60825-1:2014に基づき、クラス1消費者向けレーザー製品に分類されています。

注: 本機は、FCC規則のパート15に定められたクラスBデジタル装置の規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに準拠することが確認されています。この規制要件は、住宅に設置した際の有害な干渉に対し、合理的な保護となるように策定されています。本機は無線周波数エネルギーを発生、利用、また放射することがありますので、指示どおりに設置および使用されない場合は、無線通信に有害な電波干渉を引き起こす可能性があります。しかし、特定の設置条件で干渉が発生しないことを保証するものではありません。本機が、電源のオン・オフによりラジオ・テレビ受信に有害な干渉を引き起こしていることを確認された場合、次の1つあるいはいくつかの方法で対処を試みることをおすすめします。

- ・ 受信機やアンテナの向きや位置を変える。
- ・ 機器と受信機の間隔を広げる。
- ・ 受信機の接続されているコンセントとは別の回路のコンセントに本機を接続する。
- ・ 販売店もしくは経験豊富なラジオ・テレビ技術者に相談する。

Bose Corporationによって明確な許諾を受けていない本製品への変更や改造を行うと、この機器を使用するユーザーの権利が無効になります。

このデバイスは、FCC規則のパート15およびカナダ イノベーション・科学経済開発省のライセンス適用免除RSS規則に準拠しています。動作は次の2つの条件に従う必要があります: (1) 本装置は有害な干渉を引き起こしません。(2) 本装置は、不適切な動作を招く可能性がある干渉を含め、いかなる干渉も対応できません。

このデバイスは、FCCおよびカナダ イノベーション・科学経済開発省が一般用途向けに定めた電磁波放出制限に準拠しています。このトランスミッターは、他のアンテナまたはトランスミッターと一緒に配置したり、動作させたりしないでください。

FCC ID: A94408L / A94408R | IC: 3232A-408L / 3232A-408R

ケースの型番: 444965 | 右イヤホンの型番: 408R | 左イヤホンの型番: 408L

このシステムのイヤホンは、電波法に定められた規定に従って認定されています。



020-230152 (L)

020-230144 (R)

CAN ICES (B) / NMB (B)

CAN RSS-216 / CNR-216

ヨーロッパ向け: 運用周波数帯: 2400 ~ 2483.5 MHz | 最大送信出力 20 dBm EIRP 未満 | 運用周波数帯: 111 kHz ~ 148 kHz | 最大送信出力 37.7 dBuA/m 未満

比吸収率(SAR)に関する情報

イヤホン	測定値	測定値
	1-g SAR W/kg	10-g SAR W/kg
左	0.18	0.08
右	0.13	0.06



この記号は、製品が家庭ごみとして廃棄されてはならず、リサイクル用に適切な収集施設に送る必要があることを意味しています。適切な廃棄とリサイクルにより、自然資源、人体の健康、環境が保護されることになります。本製品の廃棄およびリサイクルに関する詳細は、お住まいの自治体、廃棄サービス、または本製品を購入された店舗にお問い合わせください。

低電力無線デバイスに関する技術規則

会社、企業、またはユーザーは、NCCの許可なく、承認済みの低電力無線デバイスの周波数を変更したり、送信出力を強化したり、元の特性および性能を改変したりすることはできません。低電力無線デバイスが、航空機の安全に影響を及ぼしたり、正規の通信を妨害したりすることはできません。発見された場合、ユーザーは干渉が発生しなくなるまで直ちに使用を中止しなければなりません。上述の正規の通信とは、電気通信管理法に基づいて運用される無線通信を意味します。低電力無線デバイスは、正規の通信またはISM帯電波を放射するデバイスからの干渉に対応できません。

充電器から供給される電力は、無線機器に必要な最小2.5ワット以上でなければならず、最大の充電速度を達成するには少なくとも3.5ワット以上である必要があります。

この製品からリチウムイオンバッテリーを取り外さないでください。取り外しはサービス担当者にお任せください。

電力状態に関する情報: 本製品は、エネルギー関連製品のエコデザイン要件に関する指令2009/125/ECおよびエネルギー関連製品およびエネルギー情報のエコデザイン(改正)(EU離脱)規則2020に基づき、欧州委員会規則(EU) 2023/826に適合しています。さまざまなスタンバイモードにおける消費電力や、本製品が自動的にそれらのモードに戻るまでの時間に関する情報については、www.Bose.com/complianceにアクセスし、該当する規則を選択してください。



使用済みの電池/バッテリーは、お住まいの地域の条例に従って正しく処分してください。焼却しないでください。



R-R-Bos-408L (L)
R-R-Bos-408R (R)
R-R-Bos-444965 (ケース)
보스코리아 유한회사

有毒/有害物質または成分の名称および含有量										
有毒/有害物質および成分										
パーツ名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミ ウム (Cd)	六価クロ ム (CR(VI))	ポリ臭化ビ フェニル (PBB)	ポリ臭化ジ フェニル エーテル (PBDE)	フタル 酸ジソ ブチル (DBP)	フタル酸 ジソ ブチル (DIBP)	フタル酸 ブチルベ ンジル (BBP)	フタル酸ビス (2-エチルヘキ シル)(DEHP)
PCB	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
金属パーツ	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
プラスチック パーツ	O	O	O	O	O	O	O	O	O	O
スピーカー	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
ケーブル	X	O	O	O	O	O	O	O	O	O
この表はSJ/T 11364の規定に従って作成されています。 O: このパーツに使用されているすべての均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、 GB/T 26572の制限要件を下回っていることを示します。 X: このパーツに使用されている1種類以上の均質物質に含まれている当該有毒/有害物質が、 GB/T 26572の制限要件を上回っていることを示します。										

機器名: イヤホンおよび充電ケース型式: 444965						
制限される物質および化学記号						
ユニット名	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁺⁶)	ポリ臭化ビフェニル (PBB)	ポリ臭化ジフェニル エーテル(PBDE)
PCB	-	O	O	O	O	O
金属パーツ	-	O	O	O	O	O
プラスチックパーツ	O	O	O	O	O	O
スピーカー	-	O	O	O	O	O
ケーブル	-	O	O	O	O	O
注1: 「O」は、制限される物質のパーセント含有量が、参照値のパーセントを超えていないことを示します。 注2: 「-」は、制限される物質が免除に該当することを示します。						

製造日: シリアル番号の8桁目の数字は製造年を表します。「5」は2015年または2025年です。**製造場所:** シリアル番号の7桁目の数字は製造場所を表します。

輸入元: Bose Electronics (Shanghai) Company Limited, Level 6, Tower D, No. 2337 Gudai Rd. Minhang District, Shanghai 201100 | Bose Products B.V., Vijzelstraat 68, 1017HL Amsterdam, The Netherlands | Ingram Micro Mexico SA de CV, Joselillo 3 Int. Piso 5 Col. El Parque, Naucalpan de Juarez, Edo Mex 53398 電話 番号: +52 55 5263 6500 | Bose Limited (H.K.), 7F, No. 2, Sec.3, Minsheng E. Road, Zhongshan Dist., Taipei City 104511, 電話番号: +886-2-2514 7676 | Bose Limited, 16 Dufour's Place, London W1F 7SP

メキシコのサービスの電話番号: 0800-266-0292

入力定格 - 充電ケース: 5V $\equiv$ 1A | **出力電圧:** 5VDC | **出力電流:** 160mA x 2 | **出力容量:** 680mAh | **IPXX保護等級:** IPX4 (イヤホン)

入力定格 - 左右イヤホン: DC 5V、160mA

CMIIT IDはカートンにあります。

本製品には**Boseの利用条件**が適用されます: worldwide.bose.com/termsofuse

ライセンス開示情報: Bose QuietComfort Ultra Earbuds (第2世代)のコンポーネントとして含まれるサードパーティ製ソフトウェアパッケージに適用されるライセンスの開示内容を表示するには、**Bose**アプリを使用します。この情報は設定メニューから表示できます。

Apple、Appleのロゴ、iPad、iPhone、およびmacOSはApple Inc.の商標であり、アメリカ合衆国および他の国々で登録されています。「iPhone」の商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき日本で使用されています。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。

Made for Appleバッジの使用は、アクセサリがバッジに記載されているApple製品への接続専用に設計され、Apple社が定める性能基準に適合しているとデベロッパによって認定されていることを示します。Apple社は、本製品の動作や、安全性および規制基準の適合性について、一切の責任を負いません。

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標で、Bose Corporationはこれらの商標を使用する許可を受けています。

Google、Android、およびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。

Microsoft TeamsはMicrosoftグループの商標です。

Snapdragon SoundはQualcomm Technologies, Inc.とその子会社の製品です。Qualcomm、Snapdragon、およびSnapdragon SoundはQualcomm Incorporatedの商標または登録商標です。

SpotifyはSpotify ABの登録商標です。

USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。

Bose、Bのロゴ、ActiveSense、SimpleSync、およびQuietComfortは、Bose Corporationの商標です。| Bose Corporation Headquarters: 1-877-230-5639 | ©2026 Bose Corporation.本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。

シリアル番号と認証マークの位置: 日付コードと一部の認証マークは、イヤホンの固定バンドの下に記載されています。固定バンドのウィング部分をそっとつまみ、情報が見えるまでイヤホンからバンドをめくってください。シリアル番号は、充電ケースのイヤホンを収納するくぼみの間に記載されています。その他の認証マークは、充電ケースの蓋の内側に記載されています。

製品情報の控え

シリアル番号: _____
モデル番号: 444965

ご購入時の領収書を保管することをおすすめします。製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。

内容物の確認

内容物	12
-----------	----

BOSE アプリのセットアップ

Bose アプリをダウンロードする	13
-------------------------	----

防水性能	14
------------	----

装着方法

イヤホンを装着する	15
フィット状態をチェックする	16
イヤーチップ	16
固定バンド	17
別のサイズを試す	18
イヤーチップ	18
固定バンド	18
イヤーチップを交換する	19
固定バンドを交換する	20

電源

電源オン	22
電源オフ	23
スタンバイ	23

タッチコントロール

タッチセンサーの場所	24
メディアの再生と音量調節	24
通話	25
モード	26
イマーシブオーディオ設定	26
機器の音声コントロール	27

ショートカット

ショートカットを使用する	28
ショートカットを変更する、無効にする	28

装着検出

自動再生/一時停止	29
着信自動応答	29
ノイズキャンセリングの自動オフ機能	29

ノイズキャンセリング

ノイズキャンセリング機能の設定変更	30
通話中のノイズキャンセリング機能について	30
ノイズキャンセリング機能のみを使用する	30

イマーシブオーディオ

イマーシブオーディオ設定	31
イマーシブオーディオ機能の設定変更	32
モードを変更する	32
ショートカットを使用する	32
通話中のイマーシブオーディオ機能について	32

リスニングモード

モード	33
ActiveSense アウェアモード	33
モードを変更する	34
イヤホンのモードを追加する、削除する	34

SPOTIFY TAP	35
-------------------	----

バッテリー

イヤホンを充電する	36
充電ケースを充電する	37
ワイヤレス充電	38
イヤホンの充電状態を確認する	39
イヤホンの使用中	39
イヤホンの充電中	39
充電ケースのバッテリー残量を確認する	40
充電時間	41

イヤホンと充電ケースの状態

イヤホンのステータスインジケータ	42
Bluetooth® の状態	42
バッテリー、アップデート、エラーの状態	42
充電ケースのステータスインジケータ	43
バッテリー、アップデート、エラーの状態	43

BLUETOOTH接続

Bose アプリを使用して接続する	44
機器の Bluetooth メニューを使用して接続する	44
機器の接続を解除する	45
機器に再接続する	45
最後に接続していた機器に再接続する	45
別の機器に再接続する	46
別の機器を接続する	46
接続されている2台の機器を切り替える	47
イヤホンのデバイスリストを消去する	47
Android™ デバイスのみ	48
Fast Pair 機能を使用して接続する	48
Snapdragon Sound™ テクノロジー	49

BOSE 製品への接続

Bose Smart Speaker または Bose Smart Soundbar に接続する	50
特長	50
対応製品	50
Bose アプリを使用して接続する	51
製品を操作して接続する	52
Bose Smart Speaker または Soundbar に再接続する	52

補足事項

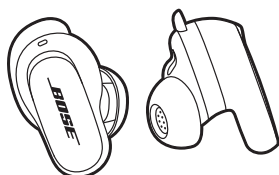
イヤホンを保管する	53
イヤホンと充電ケースのお手入れ	53
交換部品とアクセサリ	53
保証	53
イヤホンをアップデートする	53
充電ケースをアップデートする	54
日付コード、シリアル番号、認証マークの位置	54

トラブルシューティング

最初にお試しいただくこと	56
その他の対処方法	56
イヤホンと充電ケースをリセットする	68
イヤホンを工場出荷時の設定に戻す	69

内容物

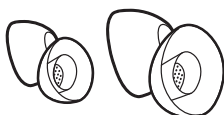
下図の内容物がすべて同梱されていることを確認してください。



Bose QuietComfort Ultra Earbuds (第2世代)



充電ケース



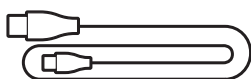
イヤーチップ(SサイズおよびLサイズ)



固定バンド(サイズ2および3)

注: Mサイズのイヤーチップはイヤホンに取り付けられています。イヤーチップのサイズを確認する方法は、18ページをご覧ください。

注: サイズ1のバンドはイヤホンに取り付けられています。バンドのサイズを確認する方法は、18ページをご覧ください。



USB Type-C® - USB-Aケーブル

注: 万が一、開梱時に内容物の損傷や欠品などが見られた場合は、使用しないでください。トラブルシューティング情報(記事、ビデオ)と製品の修理や交換については、support.Bose.com/qcue2をご参照ください。

Bose アプリを使用すると、スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器からイヤホンのセットアップや操作を行うことができます。

このアプリを使用して、イヤホンのフィット状態の確認、*Bluetooth* 接続の管理、イヤホンの設定の管理、音量の調節、音声ガイドの言語の選択、Bose が今後提供するアップデートや新機能の適用を行うことができます。

注: 他の Bose 製品用に Bose アプリを既にダウンロードしている場合は、製品リスト画面からイヤホンを追加できます。

BOSE アプリをダウンロードする

1. お使いの機器で Bose アプリをダウンロードします。

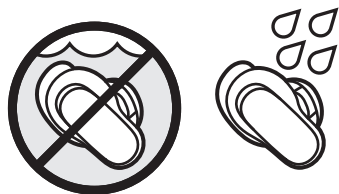


2. アプリの指示に従って、イヤホンを追加します。

イヤホンはIPX4 (生活防水)規格に適合しており、汗や悪天候の影響を受けにくいように設計されていますが、水に浸かった状態における防水性能はありません。

注意:

- ・ イヤホンを装着したまま泳いだりシャワーを浴びたりしないでください。
- ・ イヤホンを水に沈めないでください。

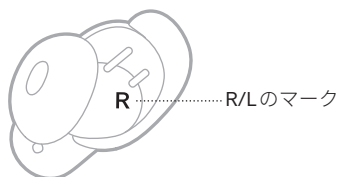
**注:**

- ・ 腐食を防ぐために、イヤホンの充電用接点を乾いた柔らかい綿棒や同等品で定期的に清掃してください。
- ・ IPX4は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

イヤホンを装着する

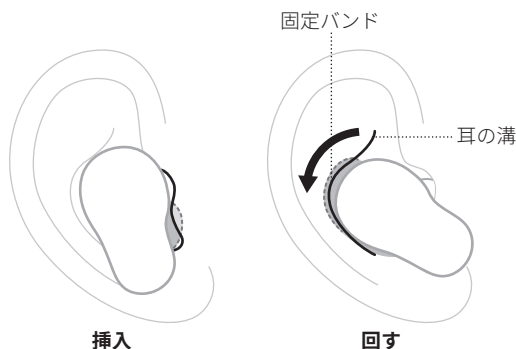
1. イヤーチップが耳にやさしく収まるようにイヤホンを耳に差し込みます。

注: イヤホンにはそれぞれ、**R**(右)または**L**(左)のマークが付いています。



2. イヤホンを少し後ろに回して、イヤーチップを耳の入り口にフィットさせ、固定バンドが耳の溝に収まるようにして、快適な状態で耳をふさぎます。

注: イヤーチップが快適な状態でしっかりと耳をふさぐようにするには、イヤホンを前後に回転させる必要があるかもしれません。ただし、前後に回しすぎると、イヤホンやマイクの音質が損なわれる場合があります。



3. フィット状態をチェックします(16ページを参照)。
4. 手順1から3を繰り返して、もう1個のイヤホンも装着します。

イヤホンを挿入すると、最高の音響性能とノイズキャンセリング効果を実現するように、耳に合わせてオーディオが調整されます。

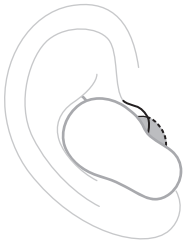
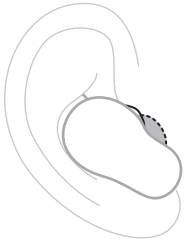
注: イヤホンをほかの人と共有する場合は、充電ケースに入れて、各ユーザー向けにパーソナライズされたオーディオ設定を消去してください。

フィット状態をチェックする

最高のフィット感と音響性能を実現し、ノイズキャンセリング効果を最大にするため、鏡を使って、使用しているイヤーチップと固定バンドのサイズが適切かどうか確認してください。左右の耳で異なるサイズのイヤーチップや固定バンドを試す必要があるかもしれません。

ヒント: また、Boseアプリの「イヤホンフィットテスト」でフィット状態をチェックすることもできます。このオプションは設定メニューから設定できます。

イヤーチップ

フィット状態	チェック方法
適切なフィット	 イヤーチップは耳にやさしく収まり、快適な状態でしっかりと耳をふさいでいます。周囲のノイズがこもって聞こえるはずです。 注: ノイズキャンセル機能により、こもったノイズが聞こえにくくなる場合があります。
圧迫が強すぎる	 イヤーチップが耳の入り口でつぶれているような違和感があります。
ゆるすぎる	 イヤーチップが耳の穴に深く入ってゆるく感じ、頭を動かしたときに抜けてしまいます。

固定バンド

フィット状態	チェック方法
適切なフィット	 バンドが突き出たり、耳の溝で押しつぶされたりしていません。 ✓
大きすぎる	 バンドが突き出たり、耳の溝で押しつぶされたりしています。 ✗
小さすぎる	 バンドが耳の溝に届いていません。 ✗

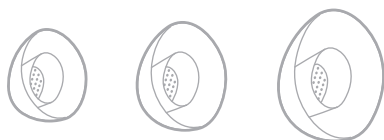
別のサイズを試す

イヤホンを長時間装着してみます。イヤホンが耳にぴったりとフィットしていない場合や、音質が期待どおりでない場合は、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを試してみてください。

イヤーチップやバンドは、**3つのサイズ**をすべて試すか、左右で異なるサイズを使うことが必要になる場合もあります。

イヤーチップ

イヤホンには、S、M、Lの3種類のイヤーチップが付属しています。



Mサイズのイヤーチップはイヤホンに取り付けられています。小さすぎると感じる場合は、Lサイズのイヤーチップをお試しください。大きすぎると感じる場合は、Sサイズのイヤーチップをお試しください。

固定バンド

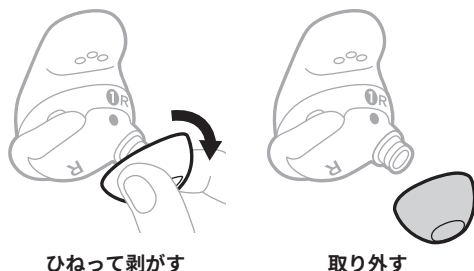
固定バンドには、サイズ**1 (S)**、**2 (M)**、**3 (L)**のマークと、**R (右)**または**L (左)**のマークが付いています。



サイズ1のバンドはイヤホンに取り付けられています。小さすぎると感じる場合は、サイズ2のバンドをお試しください。

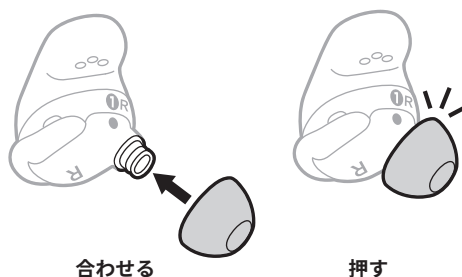
イヤーチップを交換する

1. イヤホンを持ち、イヤーチップをやさしく押しつぶして、剥がすようにしてイヤホンから取り外します。



注意: 縁を引っ張って、イヤーチップを破かないようにしてください。

2. 新しいイヤーチップのサイズを選択します(18ページを参照)。
3. イヤーチップとイヤホンのノズルを合わせ、パチッという音がするまでノズルをイヤーチップに押し込みます。



4. 必要に応じて、もう一方のイヤホンでも手順1～3を繰り返します。

注: 左右の耳で異なるサイズのイヤーチップが必要な場合もあります。

5. イヤホンを装着します(15ページを参照)。
6. フィット状態をチェックします(16ページを参照)。

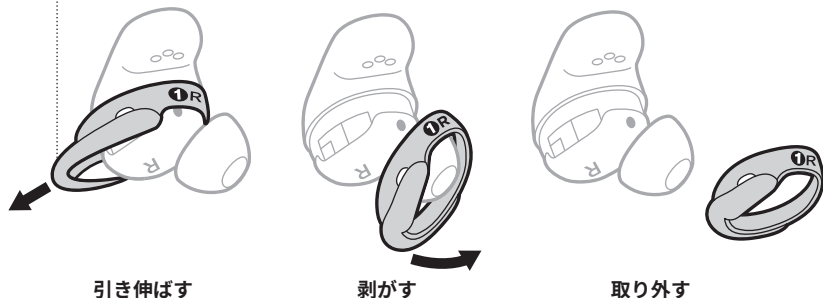
注:

- イヤーチップを交換した場合は、固定バンドが耳の溝に収まって快適な状態で耳をふさぐように、固定バンドを交換する必要があるかもしれません(20ページを参照)。
- イヤーチップの交換に関する解説ビデオは次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/qcue2
- 別のサイズのイヤーチップが必要な場合は、Boseカスタマーサービスに問い合わせるか、次のサイトをご参照ください。support.Bose.com/qcue2

固定バンドを交換する

1. イヤホン本体を持ち、固定バンドのウィング部分をそっとつまみ、バンドを手前に剥がしてイヤチップから抜き取り、イヤホン本体から取り外します。

固定バンドのウィング部分

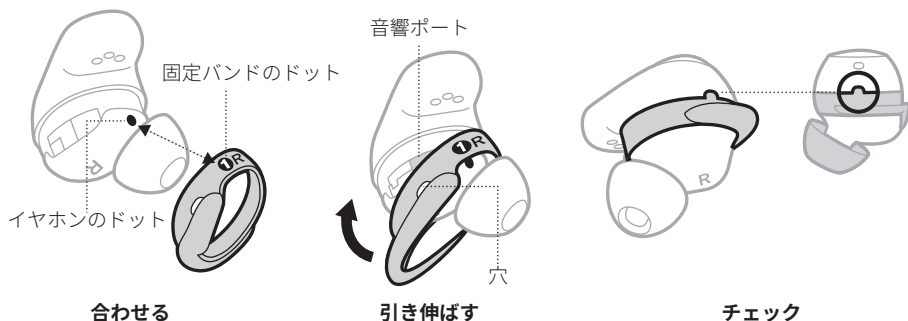


注意: 薄い部分を引っ張って、バンドを破かないようにしてください。

2. 新しいバンドのサイズを選択します(18ページを参照)。イヤホンに合わせて、**R**(右)または**L**(左)のマークが付いたバンドを選択してください。
3. バンドのマークを手前に、ウィング部分を向こう側に向け、バンドのドットをイヤホングレーのドットの下に合わせます。
4. バンドを静かに伸ばしてイヤホンにかぶせます。ドットの位置を合わせて、バンドの突起がイヤホン上部のくぼみに収まっていることを確認してください。

注: バンドを正しく合わせると、バンド側面の穴がイヤホンの音響ポートの上に来るので、ポートがふさがれることはありません。

5. バンドがしっかりと収まるまで押し込み、位置が合っているかどうか確認します。



6. 必要に応じて、もう一方のイヤホンでも手順1～5を繰り返します。

注: 左右の耳で異なるサイズのバンドが必要な場合もあります。

7. イヤホンを装着します(15ページを参照)。

8. フィット状態をチェックします(16ページを参照)。

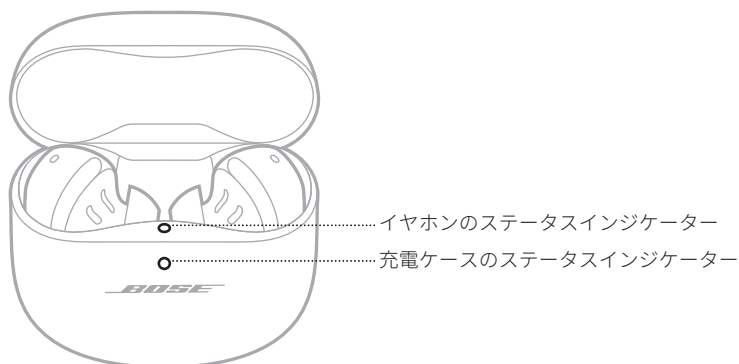
注:

- バンドの交換に関する解説ビデオは次のサイトをご参照ください。
support.bose.com/qcue2
- 別のサイズの固定バンドが必要な場合は、Boseカスタマーサービスに問い合わせるか、次のサイトをご参照ください。support.bose.com/qcue2

電源オン

充電ケースを開きます。

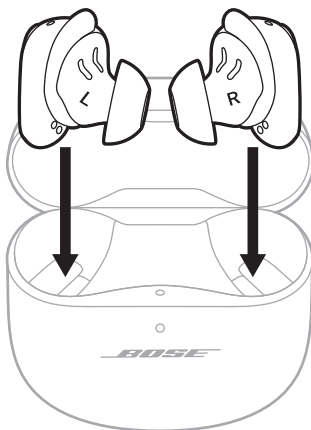
イヤホンの電源がオンになります。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(42ページを参照)。現在の充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(43ページを参照)。



注: 充電ケースからイヤホンを取り出すときは、バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

電源オフ

1. 両方のイヤホンを充電ケースに入れます。



イヤホンと機器の接続が解除されます。

2. ケースを閉じます。

イヤホンの電源がオフになります。現在の充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します (43 ページを参照)。



スタンバイ

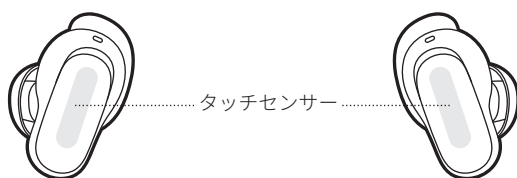
イヤホンをケースから取り出して使用されない状態が続くと、スタンバイ機能が働き、イヤホンのバッテリーの消耗が抑えられます。イヤホンを耳から外して10分間動かさないと、スタンバイ状態に切り替わります。

イヤホンをスタンバイ状態から復帰するには、イヤホンを耳に装着します。

タッチコントロールを使用するには、左右どちらかのイヤホンのタッチセンサーをタップまたはスワイプします。タッチコントロールでは、音楽の再生/一時停止、音量の調節、基本的な通話機能、ショートカットによるモードの変更、イマーシブオーディオの設定変更など、さまざまな操作を行えます(28ページを参照)。

タッチセンサーの場所

タッチセンサーは左右のイヤホンの外側にあります。タッチセンサーを使用して、メディアの再生、音量調節、通話機能、ショートカット機能を操作できます。



メディアの再生と音量調節

コントロール	操作方法
再生/一時停止	イヤホンをタップします。 
音量を上げる	イヤホンを上にスワイプします。 
音量を下げる	イヤホンを下にスワイプします。 

コントロール	操作方法
次のトラックへ送る	イヤホンを続けて2回 タップします。 
前のトラックへ戻す	イヤホンを続けて3回 タップします。 

通話

コントロール	操作方法
着信に応答する	イヤホンをタップします。 
終話する / 着信を拒否する	イヤホンを続けて2回 タップします。 
通話中の相手を保留にして 割込み着信に応答する	イヤホンをタップします。 

コントロール	操作方法
割込み着信を拒否して、 現在の通話を続ける	イヤホンを続けて2回 タップします。 
通話中にマイクをミュート/ ミュート解除する	イヤホンをタップし ます。 

モード

モードの変更方法は、34ページをご覧ください。

イマーシブオーディオ設定

イマーシブオーディオ設定の変更については、32ページをご覧ください。

機器の音声コントロール

ショートカットを設定することで、イヤホンを使って機器の音声コントロールにすばやくアクセスできます。イヤホンに内蔵されているマイクが機器の外部マイクとして機能します。

注: イヤホンを使って機器の音声コントロールを操作するには、ショートカットに設定する必要があります(28ページを参照)。

コントロール	操作方法
機器の音声コントロール機能を使用する	ビープ音が聞こえるまで、イヤホンを長押しします。放してから、リクエストを言います。 
機器の音声コントロール機能を停止する	イヤホンをタップします。 

ショートカットを使用して、以下の機能にすばやく簡単にアクセスすることができます。

- モードを順に切り替える (33 ページを参照)
- イマーシブオーディオ設定を順に切り替える (31 ページを参照)
- 機器に再接続する (46 ページを参照)
- 機器の音声コントロール機能を使用する (27 ページを参照)
- Spotify Tap にアクセスする (35 ページを参照)

注: デフォルトでは、モードの切り替えが有効になっています。

ショートカットを使用する

どちらかのイヤホンを長押しします。



ショートカットを変更する、無効にする

ショートカットの変更、無効化、左右のイヤホンへの異なるショートカットの割り当てには、**Bose** アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「ショートカット」をタップします。

注: 左右のイヤホンに異なるショートカットを割り当てた場合は、割り当てた方のイヤホンを長押しする必要があります。どちらかのイヤホンを耳から外した場合、耳に装着している方のイヤホンに割り当てられたショートカットのみが使用できます。

装着検出では、センサーを使用して、両方または片方のイヤホンを装着していることを識別します。

右イヤホンを装着したり外したりすることで、音楽の再生/一時停止の切り替え、着信への応答(有効な場合)、ノイズキャンセリング機能の調整が可能です。

注: 装着検出機能を管理するには、**Bose** アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

自動再生/一時停止

片方のイヤホンを外すと、両方のイヤホンで音楽の再生が一時停止します。

再生を再開するには、イヤホンをもう一度装着します。

注: イヤホンを片方だけ使用する場合は、耳に装着している方のイヤホンをタップして音楽を再開することができます。

着信自動応答

イヤホンを装着して電話に出ることができます。

注: この機能を有効にするには、**Bose** アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリングの自動オフ機能

片方のイヤホンを外すと、もう片方のノイズキャンセリングモードは「アウェアモード」になります(33ページを参照)。

イヤホンを装着し直すと、耳に装着したイヤホンが以前のノイズキャンセリングレベルに調整されます。

注: イヤホンを片方だけ使用する場合は、ショートカットを使ってモードを順に切り替えて、適切なモードを選択できます。

ノイズキャンセリングで周囲の不要なノイズを抑制することにより、よりクリアで臨場感のあるサウンドを再生できます。

ノイズキャンセリング機能の設定変更

モードの変更により、プリセットされたノイズキャンセリング機能の設定を切り替えることができます。モードについては、33ページをご覧ください。

注: イヤホンの電源をオンにすると、最後に使用した設定が適用されます。

ヒント: ノイズキャンセリングの設定は、Boseアプリを使用して変更することもできます。このオプションにアクセスするには、メイン画面の「ノイズコントロール」をタップしてください。

通話中のノイズキャンセリング機能について

電話をかけたり受けたりするときは、イヤホンのノイズキャンセリングレベルはそのときの設定が継続され、セルフボイスがONになります。セルフボイスにより、自分の声が聞こえることでより自然に話すことができます。

通話中にノイズキャンセリング機能を調整するには、モードを変更します(34ページを参照)。

注:

- 通話中はノイズキャンセリングの自動オフ機能は無効になります(29ページを参照)。
- セルフボイスを調整するには、Boseアプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。

ノイズキャンセリング機能のみを使用する

音楽や通話に妨げられることなく、ノイズキャンセリング機能のみを使用することができます。

- 次のいずれかを実行します。
 - イヤホンを装着している場合は、機器の接続を解除します(45ページを参照)。
 - イヤホンが充電ケースに入っている場合は、機器のBluetooth機能をオフにします。その後、ケースからイヤホンを取り出して耳に装着します。
- イヤホンを長押しすると、モードが切り替わります(34ページを参照)。

注: 機器を再接続するには、機器のBluetoothリストからイヤホンを選択します。

イマーシブオーディオでは、頭の中で聞こえている音を目の前に定位させ、常に音響空間のスイートスポットにいるような感覚を味わうことができます。まるでイヤホンの外から音が聞こえてくるように感じるので、より自然なリスニング体験ができます。イマーシブオーディオは、あらゆるソースのあらゆるストリーミングコンテンツに対応し、より透明感のあるサウンドと豊かな音質で新たなレベルへと導きます。

注: 電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます (32 ページを参照)。

イマーシブオーディオ設定

設定	説明	使用するタイミング
移動	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭の動きに合わせて位置が変わります。 注: イマーションモードでは、この設定がデフォルトで使用されます。	この設定を使用することで、より安定したリスニング体験が得られます。頻繁に首を回したり、下を向いたりするような活動をしているときに最適です。
静止	サウンドは目の前にある2本のステレオスピーカーから再生されているように聞こえ、頭を動かしてもその位置は変わりません。 注記: - 頭の動きを止めてから数秒後、スピーカーは現在のポジションで音像の中央を設定し直します。 - この設定にアクセスするには、Bose アプリを使用します。製品コントロール画面の「イマーシブオーディオ」をタップします。	最もリアルで迫力のあるリスニング体験のために使用します。静止しているときに最適です。
オフ	サウンドはイヤホンから再生されているように聞こえます。	従来どおりの方法でリスニングしたいときや、バッテリーの消耗を抑えたいときに使用します。

注: イヤホンの電源をオンにすると、最後に使用した設定が適用されます。

イマーシブオーディオ機能の設定変更

モードを変更するか、ショートカットを使用してイマーシブオーディオ設定を順に切り替えることで、イマーシブオーディオの設定を変更できます。

ヒント: Bose アプリを使用してイマーシブオーディオ設定を変更することもできます。このオプションは製品コントロール画面から設定できます。

モードを変更する

モードの変更方法は、34 ページをご覧ください。

注:

- モードを変更すると、イマーシブオーディオとノイズキャンセリングの設定が両方とも変更されます。
- また、好みのイマーシブオーディオ設定やノイズキャンセリング設定を含むカスタムモードを作成することもできます(33 ページを参照)。

ショートカットを使用する

現在のモードのノイズキャンセリング設定に影響を与えることなく、イマーシブオーディオ設定が順に切り替わるようにショートカットを変更できます。この方法では、イヤホンの電源をオフにするか、モードを変更するまで、現在のモードが一時的にカスタマイズされます。

注: イヤホンを使ってイマーシブオーディオ設定を切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります(28 ページを参照)。

1. どちらかのイヤホンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのイマーシブオーディオ設定が順に通知されます。

2. 希望する設定の名称が聞こえたら、イヤホンから指を放します。

通話中のイマーシブオーディオ機能について

電話をかけたり受けたりする際は、イマーシブオーディオが一時的にオフに設定されます。通話を終了すると、イヤホンは直前のイマーシブオーディオ設定に戻ります。

リスニングモードはプリセットされたオーディオ設定で、リスニングの好みや環境に応じて切り替えることができます。ノイズキャンセリングとイマーシブオーディオの設定で構成されています。

あらかじめ設定された3つのモード(クワイエット、アウェア、イマーション)から選択できるほか、最大7つのカスタムモードを作成できます。

モード

モード	説明
クワイエット	最大のノイズキャンセリングレベルで、Bose ステレオサウンドを楽しめます。最高レベルのノイズキャンセリング機能により、不快なノイズを遮断できます。
アウェア	最小のノイズキャンセリングレベルで、Bose ステレオサウンドを楽しめます。ステレオ音楽を楽しみながら、周囲の音を聞くことができます。
イマーション	イマーシブオーディオが「移動」に設定され、最大のノイズキャンセリングレベルで音楽を楽しめます。不快なノイズを遮断し、臨場感あふれるサウンドに浸ることができます。
シネマ	イマーシブオーディオが「静止」に設定され、最大のノイズキャンセリングレベルで音楽を楽しめます。オーディオを空間化し、背景音とサウンド効果のバランスをとることで、ビデオコンテンツを映画のように体験できます。 注: シネマモードはデフォルトではお気に入りには設定されていません。
カスタム	音の好みや環境に合わせて、ノイズキャンセリング機能とイマーシブオーディオ機能をカスタム設定できます。 注: Bose アプリを使用して、最大7つのカスタムモードを作成できます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

注:

- デフォルトでは、電源をオンにするとイヤホンはクワイエットモードになります。設定を変更した場合、イヤホンの電源をオンにすると最後に使用した設定が適用されます。
- ノイズキャンセリング機能とイマーシブオーディオ機能の設定については、30 ページおよび31 ページをご覧ください。

ActiveSense アウェアモード

ActiveSense テクノロジーを採用したアウェアモードのダイナミックなノイズキャンセリング機能により、不要なノイズを抑えながら周囲の音を聞くことができます。

ActiveSense アウェアモードでは、突然の音や大きな音が近くで発生したときに、イヤホンで自動的にノイズキャンセリング機能が強まり、ノイズにリスニングを妨げられることなく、周囲に注意を向けることができます。ノイズが止まると、ノイズキャンセリング機能は自動的に前の設定に戻ります。

ActiveSense を有効にするには、Bose アプリを使用します。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップし、「アウェア」>... をタップします。

モードを変更する

注: イヤホンを使ってモードを切り替えるには、ショートカットに設定する必要があります(28ページを参照)。

1. モードを順に切り替えるには、イヤホンを長押しします。



音声ガイドで、それぞれのモードが順に通知されます。

2. 希望するモードの名称が聞こえたら、イヤホンから指を放します。

ヒント: Boseアプリを使用してモードを変更することもできます。このオプションにアクセスするには、製品コントロール画面の「モード」をタップします。

イヤホンのモードを追加する、削除する

イヤホンのモードにアクセスするには、Boseアプリでお気に入りとして設定する必要があります。デフォルトでは、クワイエット、アウェア、イマーシヨンの3つのモードがお気に入りとして設定されています。

イヤホンのモードを追加または削除するには、製品コントロール画面の「モード」をタップし、お気に入りに設定するモードを指定します。

Spotify Tapは、文字どおりあなたの耳に音楽を届けます。簡単なジェスチャーで曲を再生できます。

注: Spotify Tapを使用するには、Boseアプリでショートカットとして設定し、Spotifyアプリを最新の状態にしておく必要があります。Androidデバイスを使用している場合は、Spotifyアプリの「付近のデバイス」の権限が有効になっていることを確認してください。

1. イヤホンにタッチしたままにすると、好みに合ったおすすめの音楽が再生されます。



2. イヤホンにもう一度タッチしたままにすると、リスナーのために作成された次のおすすめが表示されます。

イヤホンを充電する

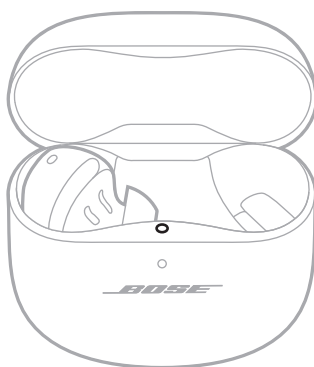
1. 左イヤホンの接点を充電ケース左側の充電端子の位置に合わせます。



注: 充電の前に、室温が8°C～39°Cの範囲内であることを確認してください。

2. イヤホンをケースに入れると、磁石の力で定位置に収まります。

イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(42ページを参照)。



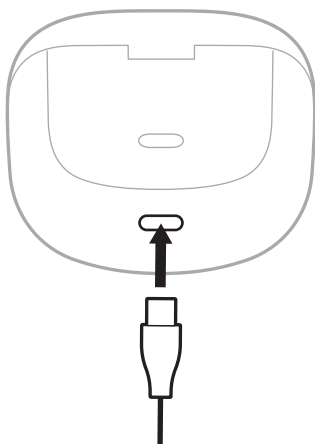
3. 手順1と2を繰り返して、右イヤホンも充電します。

注: イヤホンは、ケースが開いていても閉じていても充電されます。

充電ケースを充電する

注意: この製品には、法令(UL、CSA、VDE、CCCなど)に準拠したLPS電源アダプターのみをお使いください。

1. USBケーブルの小さい方のプラグを充電ケースの底面にあるUSB-Cポートに接続します。



2. もう一方のプラグをUSB-Aウォールチャージャー (別売)またはパソコンに接続します。

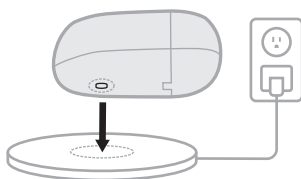
充電ケースのステータスインジケーターがゆっくりとオレンジ色で点滅します(43ページを参照)。

注: 充電の前に、室温が8℃～39℃の範囲内であることを確認してください。

ワイヤレス充電

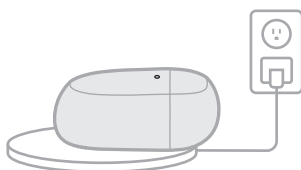
互換性のある他社製ワイヤレス充電器(別売)を使用してケースを充電できます。

1. 最も速く充電するには、充電ケースの背面にあるボタンをワイヤレス充電器の中央に合わせてください。



2. ケースを充電器の上に置きます。

現在のケースの充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します(43ページを参照)。



注: 詳しくは、ワイヤレス充電器の取扱説明書をご覧ください。

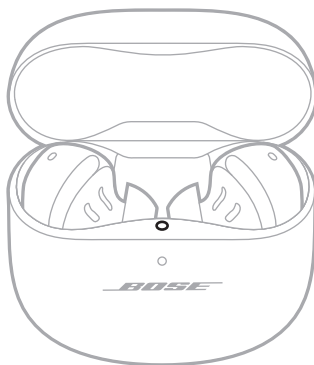
イヤホンの充電状態を確認する

イヤホンの使用中

Bose アプリを使用します。イヤホンのバッテリー残量は製品コントロール画面に表示されます。

イヤホンの充電中

イヤホンを充電ケースに収納すると、イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します (42 ページを参照)。

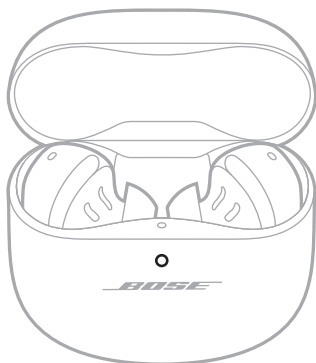


注: 片方のイヤホンのバッテリー残量がもう片方より低い場合、イヤホンのステータスインジケーターは低い方のバッテリー残量を示します。

充電ケースのバッテリー残量を確認する

充電ケースを開きます。

現在の充電状態に応じて、充電ケースのステータスインジケーターが点灯します (43 ページを参照)。



注: バッテリー残量の詳細を確認するには、Bose アプリを使用してください。ケースのバッテリー残量は製品コントロール画面に表示されます。

充電時間

コンポーネント	充電時間
イヤホン	最大2時間 ¹
充電ケース	最大3時間

注:

- ・ イヤホンのバッテリー残量が少なくなった場合、ケースを閉じて20分間急速充電することで、最大2時間使用できます²。
- ・ 完全に充電した場合、イマーシブオーディオをオフに設定した状態でイヤホンを最大6時間(イマーシブオーディオをオンに設定した状態では最大4時間)使用できます³。
- ・ 完全に充電されているケースでは、イヤホンを3回まで充電できます⁴。
- ・ イヤホンがケースに収納されている場合は、ケースの充電時間がこれより長くなることがあります。

1 Bose QuietComfort Ultra Earbuds(第2世代)およびBose QuietComfort Ultra Earbuds(第2世代)充電ケースの製品サンプルを使用して、2025年1月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した状態(オーディオ再生ができない状態)のイヤホンをフル充電された充電ケースに収納して20分間充電する急速充電テストを実施し、その後、音量をラウドネス75dB SPL、3バンドEQをゼロに設定して、イマーシブオーディオをオフにしたクワイエットモード(フルノイズキャンセリング)でBluetooth A2DPオーディオ再生を再開した結果、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大2時間でした。イヤホンが完全に充電されるまでの時間は、バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)イヤホンをフル充電された充電ケースに収納し、イヤホンを100%充電することで求めました。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

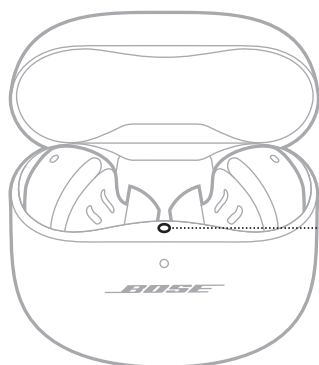
2 1.を参照。

3 Bose QuietComfort Ultra Earbuds(第2世代)の製品サンプルとIEC 60268-1ピンクノイズを使用し、A2DP Bluetooth オーディオを使用して2025年1月にBoseが実施したテスト結果。音量を再生ラウドネス75dB SPLに、3バンドEQをゼロに設定し、クワイエットモード(フルノイズキャンセリング)に設定。イマーシブオーディオをオフにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大6時間でした。イマーシブオーディオをオンにした場合、バッテリーが消耗するまでの再生時間は最大4時間でした。バッテリー駆動時間は設定や使用状況によって異なります。

4 2024年12月にBoseが実施したテスト結果。バッテリーが消耗した(オーディオ再生ができない)Bose QuietComfort Ultra Earbuds(第2世代)の製品サンプルをフル充電されたBose QuietComfort Ultra Earbuds(第2世代)充電ケースに収納し、イヤホンを100%まで充電した後、バッテリーが消耗するまでオーディオ再生を再開しました。テストの結果、フル充電ができなくなるまでに、ケースによる充電サイクルは3回完了しました。

イヤホンのステータスインジケータ

イヤホンのステータスインジケータは、充電ケースの内側表面にあります。



イヤホンのステータスインジケータ

Bluetoothの状態

機器へのBluetooth接続の状態を示します。

インジケータの表示	システムの状態
青の遅い点滅	接続準備完了
青の速い点滅	接続中
青の点灯(5秒間)	接続済み
白の2回点滅	デバイスリストを消去しました

バッテリー、アップデート、エラーの状態

イヤホンのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

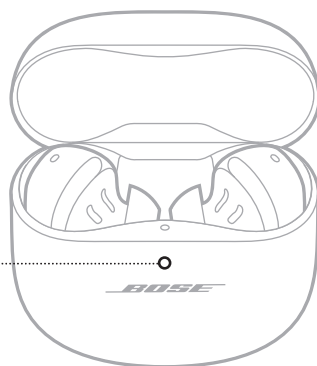
インジケータの表示	システムの状態
白の点灯(10分間)	充電完了
オレンジの遅い点滅(10分間)	充電中
白の2回点滅、青の遅い点滅、オフ	再起動が完了しました

インジケータの表示	システムの状態
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中
オレンジの点滅(3秒間)の後、消灯	工場出荷時の設定に戻しています
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

充電ケースのステータスインジケータ

充電ケースのステータスインジケータは、充電ケースの前面にあります。

充電ケースのステータスインジケータ



バッテリー、アップデート、エラーの状態

充電ケースのバッテリー、アップデート、エラーの状態を表示します。

インジケータの表示	システムの状態
白の点灯	充電完了(100%)、電源に接続
白の点灯(5秒間)	充電済み(34% ~ 99%)
オレンジの点灯(5秒間)	バッテリー残量低下(10% ~ 33%)
オレンジの2回点滅	充電が必要(10%未満)
オレンジの遅い点滅	充電中、電源に接続
白の3回点滅(繰り返し)	ソフトウェアアップデート中
オレンジと白の点滅	エラー、Bose カスタマーサービスに連絡してください

Bose アプリ、デバイスの *Bluetooth* メニュー、または Fast Pair 機能 (Android デバイスのみ) を使用して、イヤホンを機器に接続できます。

イヤホンのデバイスリストには、機器を最大 6 台まで登録でき、同時に 2 台まで接続できます (マルチポイント接続)。ただし、一度に音楽を再生できる機器は 1 台だけです。

注:

- 最も良い方法は、Bose アプリを使用して機器を設定し、接続することです (13 ページを参照)。
- Fast Pair を使用した接続については、48 ページをご覧ください。

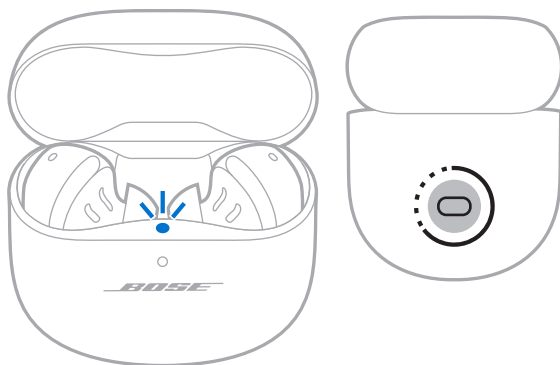
BOSE アプリを使用して接続する

Bose アプリを使用してイヤホンを接続し、*Bluetooth* 設定を管理するには、13 ページをご覧ください。

機器の BLUETOOTH メニューを使用して接続する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. お使いの機器で **Bluetooth** 設定を開きます。
3. 利用可能な製品のリストからイヤホンを選択します。

注: Bose アプリでイヤホンに付けた名前を探してください。イヤホンに名前を付けていない場合は、デフォルトの名前が表示されます。



接続されている製品のリストにイヤホンが表示されます。イヤホンのステータスインジケータが青く点灯します(42 ページを参照)。

機器の接続を解除する

イヤホンを充電ケースに入れます。

ヒント: Bose アプリまたは **Bluetooth** 設定を使用して機器の接続を解除することもできます。機器で **Bluetooth** 機能を無効にすると、イヤホンとその他の機器との接続がすべて解除されます。

機器に再接続する

最後に接続していた機器に再接続する

イヤホンをケースから取り出すと、イヤホンは最後に接続していた2台の機器に接続します。

注:

- 機器が通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- 機器の **Bluetooth** 機能が有効であることを確認します。
- マルチポイント接続機能が無効の場合、イヤホンは最後に接続していた機器に再接続します。

別の機器に再接続する

別の機器に再接続するには、Bose アプリ (13 ページを参照) または機器の *Bluetooth* 設定を使用します。

注: 既に2台の機器がイヤホンに接続されている場合、新しい機器が以前に接続されていた2台目の機器に代わって接続されます。

別の機器を接続する

デフォルトでは、イヤホンは同時に2台までの機器に接続できます (マルチポイント接続)。

別の機器を接続するには、Bose アプリ (13 ページを参照)、機器の *Bluetooth* メニュー (44 ページを参照)、または Fast Pair 機能 (Android デバイスのみ) (48 ページを参照) を使用します。

注:

- ただし、一度に音楽を再生できる機器は1台だけです。
- マルチポイント接続機能の管理または無効化には、Bose アプリを使用します。このオプションは設定メニューから設定できます。
- マルチポイント接続機能が無効にすると、2台目に接続した機器の接続が解除されます。

接続されている2台の機器を切り替える

1. 1台目の機器の再生を一時停止します。
2. 2台目の機器で音楽を再生します。

イヤホンが2台目の機器からストリーミングされる音声に切り替わります。

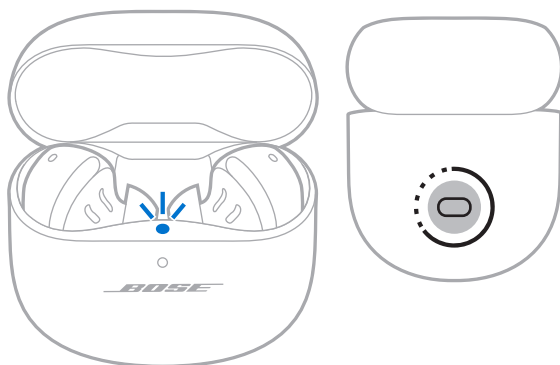
注:

- ・ 電話がかかってきたら、どちらの機器で音楽を再生しているかに関係なく、どちらからの着信でも受けることができます。
- ・ 通話中は機器の切り替えができません。

イヤホンのデバイスリストを消去する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケータが白く2回点滅し、その後ゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを15秒間長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. 機器の *Bluetooth* リストからイヤホンを削除します。

すべての機器が消去され、イヤホンが新しい機器と接続可能な状態になります (13ページを参照)。

ANDROID デバイスのみ

Android デバイスを使用している場合は、次の接続機能にもアクセスできます。

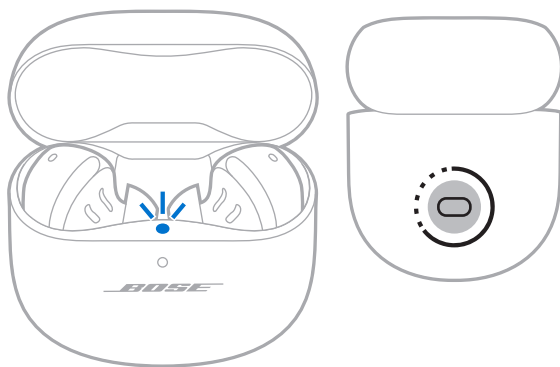
Fast Pair 機能を使用して接続する

タップするだけで、イヤホンと Android デバイスをすばやく簡単に *Bluetooth* ペアリングできます。

注:

- Fast Pair 機能を使用するには、Android 6.0 以降を実行している Android デバイスが必要です。
 - Android デバイスでは、*Bluetooth* 機能と位置情報機能がオンになっている必要があります。
1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケータがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. ケースを Android デバイスの横に置きます。

デバイスにイヤホンのペアリングを促す通知が表示されます。

注: 通知が表示されない場合は、デバイスで Google Play Services アプリの通知が有効になっていることを確認してください。

3. 通知をタップします。

イヤホンが接続されると、接続完了を確認する通知が表示されます。

注: 通知のボタンをタップして Bose アプリをダウンロードし、イヤホンの設定を完了することもできます。

Snapdragon Soundテクノロジー

Bose QuietComfort Ultra Earbuds (第2世代)は、Snapdragon Soundテクノロジーを採用しています。Snapdragon Soundは、接続された機器全体で Qualcomm® のオーディオ技術を最適化し、ストリーミングオーディオの音質、接続の安定性、遅延を最適な状態にします。

Snapdragon Soundを体験するには、対応する Android デバイスなど、Snapdragon Sound 認定デバイスが必要です。イヤホンを接続すると、デバイスは自動的に aptX Adaptive Bluetooth コーデックを使用してオーディオをストリーミングします。

注: イヤホンでサポートされる Snapdragon Sound 機能を確認し、デバイスが対応しているかどうかを確認するには、次のサイトをご参照ください。
support.Bose.com/qcue2

BOSE SMART SPEAKERまたはBOSE SMART SOUNDBARに接続する

SimpleSyncテクノロジーにより、Bose Smart SpeakerやBose Smart Soundbarにイヤホンを接続して、自分だけのリスニングを楽しむことができます。

特長

- ・製品ごとの音量を個別に調節できるので、イヤホンの音量はそのままにして、Bose Smart Soundbarの音量を下げたりミュートしたりできます。
- ・イヤホンをBose Smart Speakerに接続して、隣の部屋で音楽をクリアな音で楽しむことができます。

注: SimpleSyncテクノロジーは、最大9 mのBluetooth通信範囲内で機能します。壁や建材の種類によって受信状態が変わる場合があります。

対応製品

イヤホンとBose Smart SpeakerまたはBose Smart Soundbarを接続して、音楽を同時に再生することができます。

対応製品の例:

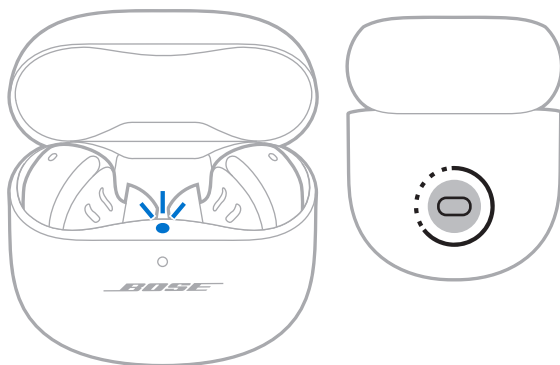
- ・ Bose Smart Ultra Soundbar/Bose Ultra Soundbar
- ・ Bose Smart Soundbar
- ・ Bose Smart Soundbar 900
- ・ Bose Smart Soundbar 700/Bose Soundbar 700
- ・ Bose Smart Soundbar 600
- ・ Bose Soundbar 500
- ・ Bose Smart Speaker 500/Bose Home Speaker 500
- ・ Bose Home Speaker 300
- ・ Bose Portable Smart Speaker/Bose Portable Home Speaker

新しい製品も随時追加されます。全製品のリストと詳細については、次のサイトをご覧ください。 support.bose.com/Groups

Bose アプリを使用して接続する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. Bose アプリを使用して、イヤホンを対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.bose.com/Groups

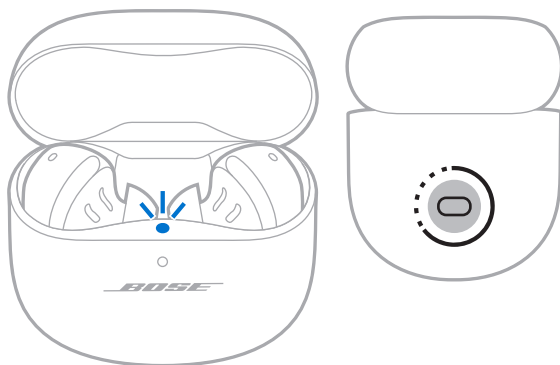
注:

- ・ 接続に最大30秒かかる場合があります。
- ・ イヤホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。
- ・ イヤホンに一度に接続できる製品は1台だけです。

製品を操作して接続する

1. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



2. サウンドバーのリモコンまたはスピーカー上部の **Bluetooth** ボタンをライトバーまたはライトリングが青く点灯するまで長押しします。

イヤホンがサウンドバーまたはスピーカーに接続され、両方の機器で同じ音楽を聴くことができます。

注:

- ・ 接続に最大30秒かかる場合があります。
- ・ イヤホンがサウンドバーやスピーカーから9 m以内にあることを確認してください。
- ・ イヤホンに一度に接続できる製品は1台だけです。

BOSE SMART SPEAKERまたはSOUNDBARに再接続する

Bose アプリを使用して、以前に接続していたBose製品にイヤホンを再接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.bose.com/Groups

注:

- ・ サウンドバーやスピーカーが通信範囲内(9 m)にあり、電源が入っている必要があります。
- ・ イヤホンを再接続できない場合は、「以前に接続されていたBose Smart SoundbarやBose Smart Speakerとイヤホンを再接続できない」(67ページ)をご覧ください。

イヤホンを保管する

イヤホンを使用しないときは、充電ケースに収納します。バッテリーの寿命を保ち、ケースにごみが入らないように、ケースを閉じてください。

イヤホンと充電ケースのお手入れ

コンポーネント	手順
イヤーチップと固定バンド	イヤーチップとバンドをイヤホンから外します。外したイヤーチップとバンドは水で薄めた中性洗剤でやさしく手洗いしてください。 注意: イヤーチップに清掃道具を差し込まないでください。 注: イヤーチップとバンドは、イヤホンに取り付ける前に水でよくすすぎ、十分に乾燥させてください。
イヤホンのノズル	ノズルの開口部のみを乾いた柔らかい綿棒または同等品を使ってやさしく拭いてください。 注意: ノズルの開口部に清掃道具を差し込まないでください。
充電用接点(イヤホン)	腐食を防ぐために、乾いた柔らかい綿棒などで拭いてください。
充電ケース	乾いた柔らかい布か綿棒などを使って、そっと汚れを拭き取ってください。

交換部品とアクセサリー

交換部品とアクセサリーは、Bose製品取扱店、弊社Webサイト、またはお電話によるご注文でご購入いただけます。

次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/qcue2

保証

製品保証の詳細は worldwide.Bose.com/Warranty をご覧ください。

製品の登録をお願いいたします。登録は弊社Webサイト (worldwide.Bose.com/ProductRegistration) から簡単に行えます。製品を登録されない場合でも、保証の内容に変更はありません。

イヤホンをアップデートする

イヤホンは、Bose アプリに接続してアップデートが利用可能な場合、自動的にアップデートを開始します。アプリの手順に従ってください。

充電ケースをアップデートする

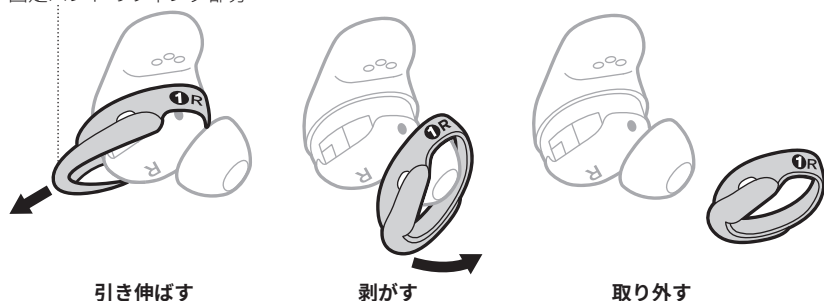
Bose Updater Webサイトを利用して、充電ケースをアップデートします。パソコンで btu.Bose.com にアクセスして、画面の手順に従ってください。

日付コード、シリアル番号、認証マークの位置

日付コードと一部の認証マークは、イヤホンの固定バンドの下に記載されています。シリアル番号は、充電ケースのイヤホンを収納するくぼみの間に記載されています。その他の認証マークは、充電ケースの蓋の内側に記載されています。

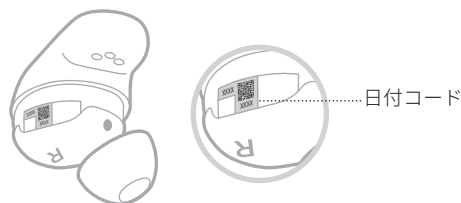
1. イヤホンを充電ケースから取り出します。
2. イヤホンから固定バンドを取り外すには、イヤホン本体を持ち、固定バンドのウィング部分をそっとつまみ、バンドを手前に剥がしてイヤーチップから抜き取り、イヤホン本体から取り外します。

固定バンドのウィング部分



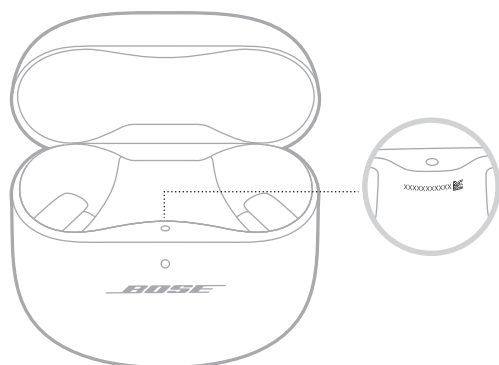
注意: 薄い部分を引っ張って、バンドを破かないようにしてください。

3. イヤホンの音響ポート付近の幅広の部分にある日付コードを確認します。



4. 固定バンドを取り付け直します (20 ページを参照)。

5. イヤホン収納部の内側、ステータスインジケーターの下にある充電ケースのシリアル番号を確認します。



6. 充電ケースの蓋の内側にあるその他の認定マークを確認します。

最初にお試しいただくこと

イヤホンに問題が生じた場合は、まず下記の点をご確認ください。

- ・ イヤホンと充電ケースを充電します (36 ページを参照)。
- ・ イヤホンの電源をオンにします (22 ページを参照)。
- ・ イヤホンのステータスインジケーター (42 ページを参照) と充電ケースのステータスインジケーター (43 ページを参照) を確認します。
- ・ お使いの機器が *Bluetooth* 接続に対応していることを確認します (44 ページを参照)。
- ・ Bose アプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します (13 ページを参照)。
- ・ 機器を干渉源や障害物から離して、イヤホンに近づけます (9 m 以内)。
- ・ イヤホン、機器、音楽再生アプリの音量を上げます。
- ・ 別の機器を接続します (13 ページを参照)。

その他の対処方法

問題が解決しない場合は、次の表を参照して一般的な問題の症状と対処方法をご確認ください。トラブルシューティングの記事、ビデオ、その他のリソースにアクセスすることもできます。 support.Bose.com/qcue2

それでも問題が解決できない場合は、Bose カスタマーサービスまでお問い合わせください。

次のサイトをご参照ください: worldwide.Bose.com/contact

症状	対処方法
イヤホンの電源が入らない	イヤホンがスタンバイ状態になっていないか確認します。イヤホンをスタンバイ状態から復帰するには、イヤホンを耳に装着します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケーターが充電状態を示します (42 ページを参照)。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 「イヤホンを充電できない」 (66 ページ) をご覧ください。

症状	対処方法
イヤホンと機器を接続できない	機器の <i>Bluetooth</i> メニューを使用して接続します(44ページを参照)。 機器の <i>Bluetooth</i> 機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します(47ページを参照)。 機器の <i>Bluetooth</i> リストからイヤホンを削除します (Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます (13ページを参照)。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態を示します (42ページを参照)。もう一度接続してみます (13ページを参照)。 両方のイヤホンが充電ケースに収納されていることを確認します (36ページを参照)。 support.Bose.com/qcue2 にアクセスして、解説ビデオを参照します。 イヤホンと充電ケースをリセットします (68ページを参照)。
イヤホンと macOS を再接続できない	パソコンの <i>Bluetooth</i> メニューを使用してイヤホンに再接続してみてください。 Bose アプリでイヤホンを選択します。製品コントロール画面で「ソース」をタップし、「ペアリング済みデバイス」リストを使ってイヤホンをパソコンに再接続します。
アプリでのセットアップ中にイヤホンが反応しない	機器の Bose アプリをアンインストールします。アプリを再インストールします (13ページを参照)。 Bose アプリを使用してセットアップしていることを確認します (13ページを参照)。 機器の設定メニューで、Bose アプリが <i>Bluetooth</i> 接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 機器の設定メニューで、<i>Bluetooth</i> 機能が有効であることを確認します。

症状	対処方法
Bose アプリでイヤホンを検出できない	機器の Bose アプリ をアンインストールします。アプリを再インストールします (13 ページを参照)。 機器の設定メニューで、Bose アプリ が Bluetooth 接続にアクセスできるようになっていることを確認します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態を示します (42 ページを参照)。イヤホンを取り出します。 イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケータがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。 以前イヤホンが接続されていたパソコンで Microsoft Teams が実行されている場合は、Microsoft Teams アプリを終了します。それでも問題が解決しない場合は、そのパソコンで Bluetooth 機能をオフにするか、Bluetooth の通信範囲 (通常は約 9 m) から離れます。 「イヤホンと機器を接続できない」 (57 ページ) をご覧ください。
機器で Bose アプリが動作しない	お使いの機器が Bose アプリ に対応しており、システム最小要件を満たしていることを確認します。詳細については、機器のアプリストアをご参照ください。 機器の Bose アプリ をアンインストールします。アプリを再インストールします (13 ページを参照)。
イヤーチップが耳の穴にフィットしない	イヤーチップが耳の穴の奥に入りすぎていないことを確認します (16 ページを参照)。 大きなサイズのイヤーチップを試してみてください。改善されない場合は、小さなサイズのイヤーチップを試してみてください (19 ページを参照)。 小さなサイズの固定バンドを試してみてください (20 ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします (16 ページを参照)。 Bose アプリ の「イヤホンフィットテスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 Bose カスタマーサービスに問い合わせ、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを入手するか、support.bose.com/qcue2 にアクセスして、解説ビデオを参照します。

症状	対処方法
固定バンドが耳の溝にフィットしない	小さなサイズの固定バンドを試してみてください(20ページを参照)。既に一番小さな固定バンドをお使いの場合は、小さなサイズのイヤーチップを試してみてください(19ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(16ページを参照)。 Boseアプリの「イヤホンフィットテスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 Boseカスタマーサービスに問い合わせて、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを入手するか、support.bose.com/qcue2にアクセスして、解説ビデオを参照します。
イヤホンが耳にしっかりと収まらない	イヤーチップが耳の穴の入り口にやさしく収まっていることを確認します(15ページを参照)。 大きなサイズの固定バンドを試してみてください(20ページを参照)。 大きなサイズのイヤーチップを試してみてください(19ページを参照)。 Boseカスタマーサービスに問い合わせて、別のサイズのイヤーチップや固定バンドを入手するか、support.bose.com/qcue2にアクセスして、解説ビデオを参照します。
イヤーチップが外れる	イヤーチップがイヤホンにしっかりと装着されていることを確認します(19ページを参照)。
固定バンドが外れる	バンドがイヤホンにしっかりと装着されていることを確認します(20ページを参照)。 イヤホン上でバンドが正しい位置にあることを確認します(20ページを参照)。

症状	対処方法
Bluetooth 接続が途切れる	イヤホンのデバイスリストを消去します(47ページを参照)。 機器の <i>Bluetooth</i> リストからイヤホンを削除します (Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます (13ページを参照)。 機器をイヤホンに近づけます。 イヤホンと充電ケースをリセットします (68ページを参照)。
音が出ない	左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します (18ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします (16ページを参照)。 Bose アプリの「イヤホンフィットテスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 support.bose.com/qcue2 にアクセスして、解説ビデオを参照します。 音量が上がっていることを確認します (24ページを参照)。 左右のイヤホンがしっかりと耳に収まっており、後ろに回しすぎしていないことを確認します (15ページを参照)。 イヤホンを装着するときは頭をまっすぐにしてください。 機器の再生ボタンを押して、音楽が再生されていることを確認します。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 機器に直接保存しているコンテンツを再生します。 機器を2台接続している場合は、もう1台の機器の再生を一時停止してください。 イヤーチップやイヤホンのノズルにごみなどが詰まっていれば取り除きます (53ページを参照)。 機器を再起動します。 Bose アプリを使用して、装着検出機能を無効にします (29ページを参照)。

症状	対処方法
片側のイヤホンから音が出ない	左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(18ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(16ページを参照)。 Bose アプリの「イヤホンフィットテスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 support.Bose.com/qcue2にアクセスして、解説ビデオを参照します。 Bose アプリのソフトウェアが最新であることを確認します(53ページを参照)。 左右のイヤホンがしっかりと耳に収まっており、後ろに回しすぎしていないことを確認します(15ページを参照)。 イヤホンを装着するときは頭をまっすぐにしてください。 イヤーチップやイヤホンのノズルにごみなどが詰まっていれば取り除きます(53ページを参照)。 機器が2台接続されている場合は、2台目の機器の接続を解除します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態を示します(42ページを参照)。イヤホンを取り出します。
オーディオとビデオが同期していない	アプリケーションまたは音楽サービスを閉じてから再度開きます。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態を示します(42ページを参照)。イヤホンを取り出します。

症状	対処方法
音質が悪い	鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(16ページを参照)。 Bose アプリの「イヤホンフィットテスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 左右の耳で適切なサイズのイヤーチップと固定バンドを使用していることを確認します(18ページを参照)。 support.Bose.com/qcue2にアクセスして、解説ビデオを参照します。 Bose アプリを使用してセットアップしていることを確認します(13ページを参照)。 別の曲を試してみてください。 別のアプリケーションまたは音楽サービスからオーディオを再生します。 イヤーチップやイヤホンのノズルにごみなどが詰まっていれば取り除きます(53ページを参照)。 機器が2台接続されている場合は、2台目の機器の接続を解除します。 機器や音楽再生アプリのオーディオ拡張機能をオフにします。 イヤホンの接続で正しい <i>Bluetooth</i> プロファイル(Stereo A2DP)が使用されていることを確認します。お使いのモバイル機器の <i>Bluetooth</i>/オーディオ設定メニューで、正しいオーディオプロファイルが選択されていることを確認してください。 機器の <i>Bluetooth</i> 機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 イヤホンのデバイスリストを消去します(47ページを参照)。 機器の <i>Bluetooth</i> リストからイヤホンを削除します(Low Energy (LE) ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます(13ページを参照)。 イヤホンをほかの人と共有する場合は、充電ケースに入れて、各ユーザー向けにパーソナライズされたオーディオ設定を消去してください。

症状	対処方法
マイクが音を正常に拾わない	イヤホンを前後に回しすぎていないことを確認します (15 ページを参照)。マイクの音質を最もよくするには、イヤホンが口やあごの方に向くように角度を付けます。 もう一度電話をおかけ直してください。 対応している別の機器で試してみてください。 機器の <i>Bluetooth</i> 機能をオフにしてから、もう一度オンにします。 固定バンドが正しい位置に取り付けられ、バンド側面の穴とイヤホンの音響ポートの位置が合っていることを確認します (20 ページを参照)。 イヤホンのデバイスリストを消去します (47 ページを参照)。機器の <i>Bluetooth</i> リストからイヤホンを削除します (<i>Low Energy (LE)</i> ラベルの付いた重複項目も含む)。もう一度接続してみます (13 ページを参照)。
モードを調整できない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態を示します (42 ページを参照)。イヤホンを取り出します。 ショートカットを左右どちらか一方のイヤホン用にカスタマイズした場合は、正しいイヤホンを長押ししていることを確認します。 「イヤホンのタッチコントロールが反応しない」 (65 ページ) をご覧ください。 Bose アプリを使用して、モードを調整します。このオプションは製品コントロール画面から設定できます (13 ページを参照)。

症状	対処方法
ノイズキャンセリング機能の効果が弱い	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態を示します(42ページを参照)。イヤホンを取り出します。 ActiveSenseが有効であることを確認します(33ページを参照)。 鏡を使ってイヤホンのフィット状態をチェックします(16ページを参照)。 Boseアプリの「イヤホンフィットテスト」でフィット状態をチェックします。このオプションは設定メニューから設定できます。 モードをチェックします(33ページを参照)。 イヤホンを耳から外し、再度装着します。 イヤーチップやイヤホンのノズルにごみなどが詰まっていれば取り除きます(53ページを参照)。 通話中または機器の音声コントロールを使用している場合は、Boseアプリを使用して、セルフボイスを下げるかオフにします(30ページを参照)。 イヤホンをほかの人と共有する場合は、充電ケースに入れて、各ユーザー向けにパーソナライズされたオーディオ設定を消去してください。 イヤホンと充電ケースをリセットします(68ページを参照)。うまくいかない場合は、イヤホンを工場出荷時の設定に戻します(69ページを参照)。
通話中に相手の声が聞こえにくい	機器の音量を上げます。 通話が機器のスピーカーではなくイヤホンから聞こえていることを確認します。 別のモードを試してみてください(33ページを参照)。 イヤーチップやイヤホンのノズルにごみなどが詰まっていれば取り除きます(53ページを参照)。
通話中に自分の声が聞こえにくい	モードをアウェアモードに変更します(34ページを参照)。 Boseアプリを使用してセルフボイスを調整します。このオプションは設定メニューから設定できます。
イヤホンが反応しない	両方のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めます。ケースを閉じてから、もう一度開きます。イヤホンのステータスインジケータが充電状態を示します(42ページを参照)。イヤホンを取り出します。 イヤホンと充電ケースをリセットします(68ページを参照)。うまくいかない場合は、イヤホンを工場出荷時の設定に戻します(69ページを参照)。

症状	対処方法
イヤホンのタッチコントロールが反応しない	タッチセンサー部分を正しくタッチしていることを確認します(24ページを参照)。 指がタッチコントロール部分にしっかり触れていることを確認します(24ページを参照)。 続けてタップする機能の場合は、タップする強さを変えてみます。指が濡れていないことを確認します。 髪が濡れている場合は、髪がタッチセンサーに触れないようにしてください。 手袋を着用している場合は、手袋を外してからタッチセンサーに触れてください。 Bose アプリを使用して、装着検出機能を無効にします(29ページを参照)。 イヤホンが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。 イヤホンと充電ケースをリセットします(68ページを参照)。 Bose アプリを使用して、タッチコントロールが有効であることを確認します。
タッチコントロールが意図せず作動する	Bose アプリでタッチコントロールを無効にします。このオプションは設定メニューから設定できます。
音量を調節できない	Bose アプリを使用して、音量調節が有効であることを確認します(24ページを参照)。 タッチセンサーを正しい方向にスワイプしていることを確認します(24ページを参照)。 「イヤホンのタッチコントロールが反応しない」をご覧ください。
ショートカットを使用できない	Bose アプリを使用してショートカットが設定されていることを確認します(28ページを参照)。 ショートカットを左右どちらか一方のイヤホン用にカスタマイズした場合は、正しいイヤホンを長押ししていることを確認します。

症状	対処方法
イヤホンを充電できない	イヤホンが充電ケースに正しく収納されていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、イヤホンを充電している間はケースを閉じてください(36ページを参照)。 イヤホンの充電用接点やケースの充電端子に汚れやごみが付着していないことを確認します。 イヤホン上で固定バンドが正しい位置にあることを確認します(20ページを参照)。バンドの位置が正しくない場合、イヤホンの充電用接点とケースの充電端子の位置が合わないことがあります。 USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブルをお試しくささい。 別のウォールチャージャーをお試しくささい。 ワイヤレス充電器を使用する場合は、完全な接続を確立するため、充電ケースの背面にあるボタンをワイヤレス充電器の中央に合わせてください(38ページを参照)。 イヤホンや充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(36ページを参照)。
充電ケースを充電できない	USBケーブルが充電ケースの端子にしっかりと接続されていることを確認します。 充電ケースのバッテリーが消耗している場合は、接続されているUSBケーブルの長さが十分であることを確認し、初期充電を行います。ケーブルを外して、充電ケースのステータスインジケーターが消えたら、USBケーブルを接続し直してください。 USBケーブルの両端をしっかりと接続し直します。 別のUSBケーブルをお試しくささい。 充電ケースが閉じていることを確認します。バッテリーの寿命を保つために、充電中はケースを閉じてください。 別のウォールチャージャーをお試しくささい。 充電ケースが非常に高温または低温の場所に置かれていた場合は、室温に戻してください。もう一度充電してみます(37ページを参照)。 充電ケースの付属品が正しく取り付けられ、USBケーブルを充電ケースの端子にしっかりと接続するための妨げになっていないことを確認します。 ワイヤレス充電器を使用する場合は、完全な接続を確立するため、充電ケースの背面にあるボタンをワイヤレス充電器の中央に合わせてください(38ページを参照)。

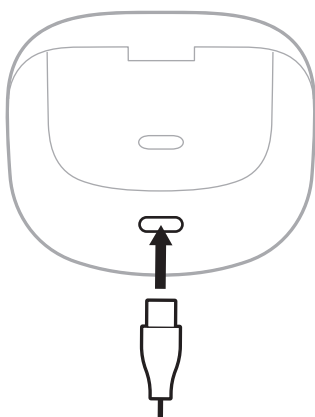
症状	対処方法
音声ガイドの言語が正しくない	Bose アプリを使用して音声ガイドの言語を変更します(13 ページを参照)。このオプションは設定メニューから設定できます。
着信が通知されない	機器がおやすみモードに設定されていないことを確認します。 機器の <i>Bluetooth</i> メニューで、イヤホンが連絡先にアクセスできるように設定されていることを確認します。
イヤホンから変な音が聞こえる	イヤホンのノズルが詰まっていないか確認します(19 ページを参照)。 イヤークリップやイヤホンのノズルにごみなどが詰まっていれば取り除きます(53 ページを参照)。
イヤホン を Bose Smart Soundbar または Bose Smart Speaker に接続できない	対応している Bose 製品を接続していることを確認します。対応製品のリストについては、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups イヤホン を充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。 イヤホンがサウンドバーやスピーカーから 9 m 以内にあることを確認してください。
以前に接続されていた Bose Smart Soundbar や Bose Smart Speaker とイヤホン を再接続できない	イヤホン を充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅するまで、ケース背面のボタンを長押しします。Bose アプリを使用して、イヤホン を対応する Bose 製品に接続できます。詳しくは、次のサイトをご覧ください: support.Bose.com/Groups
接続した Bose Smart Soundbar または Bose Smart Speaker からの音が遅れて再生される	Bose アプリをダウンロードして、入手可能なソフトウェアのアップデートを実行します。

イヤホンと充電ケースをリセットする

イヤホンや充電ケースが反応しない場合は、リセットすることができます。

イヤホンと充電ケースをリセットすると、製品のコントロールがリセットされ、イヤホンとケースが再起動します。機器の設定は消去されません。

1. 左右のイヤホンを充電ケースに入れて、磁石の力で定位置に収めると、イヤホンのステータスインジケーターが充電状態に応じて点灯します(42ページを参照)。
2. ケースの蓋を閉じ、USBケーブルの小さい方のプラグをケースの底面にあるUSB-C®ポートに接続します。



3. もう一方のプラグをUSB-Aウォールチャージャー (別売) またはパソコンに接続します。

充電ケースのステータスインジケーターがゆっくりとオレンジ色で点滅します(43ページを参照)。

4. 充電ケースのステータスインジケーターが消灯するまで、ケースの背面にあるボタンを最大30秒間長押しします。



イヤホンを工場出荷時の設定に戻す

工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去され、イヤホンが箱から出したときの状態に戻ります。その後、初めてイヤホンをセットアップするときのように設定することができます。

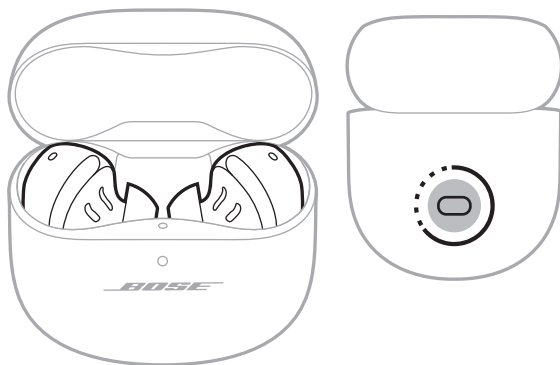
工場出荷時の設定へのリセットは、イヤホンに問題がある場合や、Bose カスタマーサービスから指示された場合にのみ行うようにしてください。

1. 機器の *Bluetooth* リストからイヤホンを削除します。
2. Bose アプリを使用して、Bose アカウントからイヤホンを削除します。

注: Bose アプリで Bose アカウントからイヤホンを削除する方法の詳細については、次のサイトをご参照ください: support.Bose.com/qcue2

3. イヤホンを充電ケースに入れ、ケースを開いた状態で、イヤホンのステータスインジケーターが白く 2 回点滅してからゆっくりと青く点滅し、その後消灯するまで、ケース背面のボタンを最大 30 秒間長押しします。

注: 両方のイヤホンがケースに収納され、ケースが開いていることを確認してください。



4. 前の手順を 2 回繰り返します。

3 回目の実行後、ステータスインジケーターが 3 秒間オレンジに点滅し、工場出荷時の設定に戻していることを示します。

復元が完了すると、ステータスインジケーターがゆっくりと青く点滅します。これでイヤホンは、箱から出したときの状態に戻っています。

注: それでも問題が解決できない場合は、support.Bose.com/qcue2 でその他のトラブルシューティング情報を参照し、サポートをご利用ください。

